

## 熊本の風景印情報

最近の熊本県内の風景印について、郵趣の7月号の記事にもありましたが、八代局で5月、図案改正時に局名が本来の漢字表記ではなく、ひらがな表記のものが現れましたが、5日間で廃止されました。

従来の風景印は、松井家茶屋・松浜軒と花菖蒲を描くデザイン。5月17日まで使用され翌日の18日より県のゆるキャラ「くまモン」に八代市のゆるキャラ「とまピン」を描くデザインに変更の際に、「八代」の読み間違いが多いことから、市のパンフレットを参考にひらがな表記にしたそうです。

しかしながら、八代局の和文印は「八代」と漢字表記になっていることから、22日に廃止ということになり、貴重なマテリアルとなりました。改めて漢字表記に修正され6月1日より使用されています。

もうひとつ、熊本市中央区帯山の北帯山局で使用されている風景印が7月3日よりデザイン改正。メインで描かれている熊本城・肥後スミレ・ツマグロヒョウモンに加藤清正が書き加えられた。西村局長さんによると、風景印は平成14年から使用されているので数年前からデザイン改正を検討されていたそうです。

住宅街でこれといった名所・旧跡などもなくデザイン改正も簡単には行かなかったとのこと。デザイン担当は、当初からお願いしている澤口尚子さんです。デザイン改正にあたり、内野の全国各地の風景印展示も行いました。

北帯山局の風景印につきましては、最終日と初日の官白が10組ほどありますので、希望される方にお譲りできます。この機会に風景印を集めてみませんか。

